



いきいきかわら版仙台支部

第36号

11月22日に24節気の小雪を迎え、季節は冬本番となりましたが、昔と違って雪が降るにはもう少し先になりそうです。

今年もコロナ禍で過ごす日々が続きました。ようやくワクチン効果と皆様の感染防止の徹底が功を奏し、今は感染も落ち着いてきております。皆様の生活にも【日常】が戻りつつあるのではないのでしょうか？しかし、今年はインフルエンザの感染拡大も危惧されておりまして。手洗い、うがいの徹底は継続して実施をお願い致します。

今年も30数日で令和4年を迎えようとしております。ここで1月から6月までの主な出来事を振り返ってみましょう。

十二月六、七日で来年のカレンダーをお届け致します。感染防止のため、玄関でのお渡しとなります。宜しくお願ひ申し上げます。

1月はコロナの急拡大で1都3県(首都圏)に緊急事態宣言から始まりました。アメリカではバイデン氏が大統領に就任。

2月には医療従事者にワクチン接種が開始。スポーツ界では大坂なおみさんが全豪オープンで2年ぶり2度目の優勝と明るいニュースがありました。

3月は東日本大震災から10年目を迎え、各地でコロナ禍での鎮魂祭が行われました。横綱鶴竜の引退もありました。

4月には3度目の緊急事態宣言が発令。国内に暗い影を落とす日々が続きました。スポーツでは、東北福祉大学出身の松山英樹が日本人として初めての4大メジャー大会の一つマスターズゴルフを制し優勝。



5月にはコロナ拡大で緊急事態宣言が6月までの延長宣言、国民全体に暗い影を落としました。俳優の田村正和さんの訃報も届きました。

6月にはコロナワクチンの接種が高齢者の皆様に行われたことで感染拡大に歯止めがかかり始めてようやく緊急事態宣言が一時解除されました。そんな中、千葉県八街市で飲酒運転のトラックが集団下校の小学生の列に突っ込み、5名の児童が死傷するという痛ましい事故もありました。

全般的に今年前半は暗いイメージを残す半年でした。後半は、12月号でお伝え致します。皆様は、どのような年となりましたか？

来る年は、皆様に明るく楽しい日々となることをスタッフ一同、祈念しております。



シニア福祉アドバイザー 潔のワンポイント講座

以前にもご紹介致しましたが、河合雅司氏のベストセラー【未来の年表】に掲載されたこれからの日本の中に起こりうる未来像の中に、2024年には全国民の3分の1が65歳以上という時代を迎えます。いわゆる高齢者社会がすぐそこにやってきます。

また、2025年には団塊の世代が後期高齢者となり、5人に1人が認知症患者となると予想されています。BPP(ぼけてぴんぴん)という言葉も社会を反映したものです。皆様が望むのは、PPK(ピンピンコロリ)でしょうか？

そこで、今回は、認知症予防協会が発表している認知症自己診断テストを別紙にてお届け致します。これは、現在のご自身の状態を大まかに判断するひとつの手段です。

先日、筆者も脳ドックを受け、認知症の判断を受けましたが、診断結果は【年相応】と診断されほっとしました。

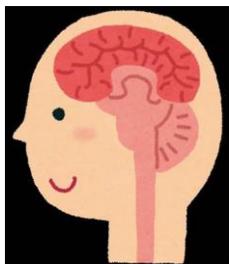
認知症は、決して悪病ではなく誰もが起こりうる現代病でもあります。

昔は、【ぼけてきた】で流していたことが、いまは、医療により進行を抑える治療やお世話してくれる施設もあります。

私たち、いきいきつながる会も会員の皆様には健康で楽しい日常を送って頂けるようサポートして参ります。

一度、テストを行って、ご自身の体調を管理してみてください。不安な方は、いつでもお電話を頂ければ幸いです。

お元気で2022年を迎えましょう。



クロッカス



菊



11月の花